

事例

中央中学区 朝ごはんプロジェクト
〔早寝早起き朝ごはん〕推進校事業)

滋賀県彦根市立 中央中学校

中央中学校で令和3（2021）年度に生徒を対象に実施した「生活状況アンケート」の回答結果から、本校生徒の約1割が朝食を欠食している状況がみられました。そこで、本中学校ブロックで開催している生徒指導連絡協議会（教員、市教委、保護者代表、地域代表、地域駐在所の警察官で構成）の中で話題提供したところ、参加者から「この1割の中には、家庭の状況から朝食を食べたくても食べられない子供もいるのではないか」、「朝食を欠食することで登校が困難になってしまったり、不登校につながってしまったりしているケースもあるのではないか」との意見がありました。その言葉がきっかけとなり、本校の「朝ごはんプロジェクト」（早寝早起き朝ごはん＋メディアからの自立）がスタートしました。



地域集会所での朝ごはんプロジェクトの様子

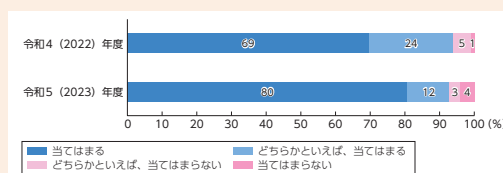
事業を進めていく上で大切にしたいことは、①困難な状況にある生徒に限った支援では該当生徒の自尊感情を傷つけてしまうおそれもあることから、全ての生徒を対象とすること、②学校がプラットフォームとなり家庭や地域、福祉等の関係機関とのつながりを作り、地域全体で課題意識を共有すること、③地域の方々や地域企業の協力も得ながら、持続可能な取組とすること、④就学前から中学卒業まで縦のつながりを意識し、継続した取組とすること、の4つです。

具体的な取組の中でも、特に地域の方々と共に生徒が朝食を囲む「朝食支援活動」は、地域協力者のご厚意で借りられることになった学区内の集会所にて、月に1回のペースで開催しています。なお、この朝食支援活動はスクールソーシャルワーカー¹の計画の下で回数を重ね、地域の方々に運営できるようになりました。朝食に使用する食材は地域のスーパーマーケットや農家から提供を受けており、持続可能な支援体制となりました。また、中学校が中心となって進めている取組を、学区の小学校やこども園、保育所にも広げて、学区としての取組として認知されるように取り組んでいます。

さらに、この朝ごはんプロジェクトのことを知った地域の方が、ご自身が経営されている飲食店でこども食堂を始められるなど、支援の輪も広がっています。

これらの取組を通して、生徒の食や睡眠、メディア利用への意識が改善されつつある状況です。劇的な変化を求めるのではなく、地道な取組による継続した成長を実現できるようにしていくことが重要であると考えています。

図表1 「保護者アンケート」結果



資料：彦根市立中央中学校「保護者アンケート」
（質問）「子供は、朝ごはんを毎日食べている」
（選択肢）「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」

1 いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う者